



# う て な

A i o i

- あいさつ
- 活躍する同窓生
- 母校だより
- 事務局より



## 同窓会総会 2022年 8月20日(土) 16:00~ 場所:相生高校会議室

2022年8月20日に同窓会総会を開催いたします。どなたでも参加できますので、卒業以来、相生高校へ来られたことのない方も、この機会に懐かしい母校にお立ち寄りください。そして同窓会活動へのご意見をお聞かせください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。ただし、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催の形態を変更することがあります。来校される前に相生高校ホームページをご確認ください。



## 相門会のみなさまへ

相門会会長 芦谷 得夫（1回生）

なかなか収束に向かわないコロナ禍のため、今年度の総会も開催することができず本部役員だけの協議といたしました。そのような中にも関わらず、会に出席くださった同窓会員もあり、令和2年度決算、令和3年度予算・事業計画等について慎重にご審議いただき、ご承認いただきました。また、5年に1度の名簿発行が無事に終了し皆様のお手元に届いたと思います。同窓生の絆を結ぶ一助となることを祈っております。さらに、「県立学校環境充実応援プロジェクト」に賛同をいただき母校に寄付をしていただいた会員もいらっしゃったと聞きました。ありがとうございました。

さて、本年度はオリンピックでの各国トップアスリートの素晴らしいパフォーマンスに感動をいただきました。特に、日本選手は母国開催ということもあり好成績を残してくれました。兄弟や姉妹で同時金メダルや団体競技での感動の金メダルなど話題満載でした。中でも、スケートボードの中学生メダリストをはじめ、東京オリンピック（五輪）の日本代表選手約580人のうち、10代の選手は28人いたそうで

す。次世代を担う若手が出てきていることに頼もしさを感じました。

そのような中、SNS上でアスリートへの批判や中傷が多くあったという残念なニュースもありました。同窓会名簿挨拶にも書きましたが、コロナ禍によりリモートワークやリモート学習などICT機器の活用が急速に進むという良い現象も起こった反面、ネットの匿名性を利用した個人攻撃や誹謗中傷の結果、命にかかわる問題にまで発展し、社会問題化しています。人々が感じる孤立感や閉塞感が人を攻撃的にし、寛容さを失っているような気がしてなりません。匿名という安全な場所に身を置き、自分勝手な正義を振りかざして攻撃ともいえる発信をしている人たちの行為に憤りを禁じえません。自分が発信した言葉が相手の命をも奪うことにつながるかもしれないという想像力を働かせてほしいと切に願います。

今、SDGsという取り組みが世界で始まっています。「持続可能な開発目標」という意味ですが、理念は「自分さえよければ、今さえよければそれでいい」という利己的な考え方を捨てみんなで行動しなければ、素晴らしい地球を未来に残せないということです。自分も含めみんなが幸せになるために何ができるのか考え行動したいですね。

私たち役員一同、創立50年に向けてできるかぎりのことを考え、進めてまいりますので今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

あ

い

さ

つ

2021 DEC. [utena]vol.25



## ポストコロナ新時代を 生き抜く！

校長 栗林 秀忠

相門会会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より母校に対しまして、物心両面にわたる多大なるご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

小西校長の後任として、この4月に県立龍野北高等学校より第18代校長として着任しました栗林と申します。どうぞよろしくお願いたします。

9月現在、新型コロナウイルスの第5波が押し寄せ、本県にも4度目となる緊急事態宣言が発令されています。昨年来の流行により、入学式や卒業式、相高祭や体育大会等の学校行事の中止や延期、そして無観客での開催が続いており、会員の皆様の後輩達の活躍を参観していただけない状況となっておりますこと、大変心苦しく、また申し訳なく思っております。しかしこうした中、本年度は7月に2年振りとなる相高祭を、そして9月には体育大会を、規模を縮小し無観客で実施いたしました。生徒諸君は、限られた時間の中で創意工夫し、素晴らしい行事に仕上げてくださいました。相高生としての自信と誇りを見せつけてくれたように思い本当に感動しました。そして何より、このコロナ禍において、生

徒諸君のたくさん笑顔を見ることができた事が嬉しかったです。

さて、本校は今年で創立45年目を迎えました。今後は創立50周年という歴史的な節目に向けて、建学精神である「自律 創造 敬愛」を基調として、先輩方が培われてきた伝統をしっかりと受け継ぐとともに、新たな学校文化をつくりあげていく大変重要な期間であると思っています。特に、来年度から18歳成人、新学習指導要領の実施と観点別評価の導入、BYOD（一人一台端末環境の整備）の導入、対面授業とICT授業を組み合わせた教育のハイブリット化など、学校現場は大きな変革期となります。また、人工知能AI、ビッグデータ、IoTの急速な進展により産業社会構造がすでに変化しつつあります。加えて、ポストコロナ社会として新たな価値観が創造され、社会法制度や文化、人の考え方なども確実に変わっていくものと考えられます。

相高生には、こんな時代だからこそ、大きな夢を持ち、失敗や挫折をしても何度でも立ち上がり夢に挑戦し続けることができる強い心を持った人に成長して欲しいです。そして、「相生高校から世界へ」のスローガンのもと、地域や日本だけでなく世界各地で活躍できる人材、かつ高いコミュニケーション力と豊かな人間性や感性を持つ人材として育ててほしいと願っています。

最後になりましたが、相門会会員の皆様のご活躍を祈念申し上げますとともに、なお一層のご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

## 職員異動

### 転出者

職名	氏名	異動先	職名	氏名	異動先
校長	小西 信吾	定年退職	臨時講師	小林健太郎	県立大附属高校
教諭	中川恵己子	定年退職	実習教員(臨)	鈴木 貴子	家島高校
教諭	岡村 真輔	網干高校	主査	住本亜也子	網干高校
教諭	杉本 裕章	上郡高校	事務職員	田中真理子	歴史博物館
教諭	前田 嘉暢	東播磨高校	校務員(臨)	藪田 美穂	西はりま特別支援学校

### 転入者

職名	氏名	前任校	職名	氏名	前任校
校長	栗林 秀忠	龍野北高校	教諭	前川 稔喜	新規採用
教諭	長田 年広	山崎高校	実習教員(臨)	深津友理恵	赤穂高校
教諭	大仲 隆介	家島高校	主査	高見 智美	佐用高校
教諭	三瀬 真弓	龍野高校	事務職員	城内 愛花	新規採用
教諭	田村 駿	千種高校	校務員(臨)	吉田 裕子	姫路飾西高校



## 1 回生、 まもなく定年を迎えます！

中川 猛 (1回生)

姫路税務署長の中川です。相生高校の1回生です。姫路税務署は、姫路市ほか神崎郡3町を管轄する大規模署で、播磨地域の中心署としての役割を担います。

令和3年7月12日に姫路署に着任後、広報業務で、約40年振りに母校を訪問させていただいたことをきっかけに、光栄にも「うてな」へ寄稿させていただくこととなりました。国税職員として最後の異動で、姫路税務署長に配置されたことによって、遠のいていた母校とのつながりを持ってましたことに、心からありがたいと感じております。

私は、相生市の相生（おお）の出身で、相生市大谷町で生まれ、高校卒業まで過ごしました。高校卒業後は、関西大学、求人情報誌のリクルートの子会社の営業マンを経て、25歳の時に国税専門官採用試験に合格し、大阪国税局に採用後、初めての配置先が姫路税務署で、その後、京阪神の税務署と国税局の勤務を繰り返して、最後の年、姫路税務署に署長として32年ぶり2度目の配置をされたという次第です。

私の高校時代を思い返して頭に浮かぶのは、自転車通学です。自宅から学校まで自転車で片道しっかり30分。毎日母親が作ってくれる弁当持参で、黒の詰襟の学生服に黒の革靴を履いて、雨の日は上下のカッパを着て、3年間、事故もなく無事乗り切りました。校門までの急な坂道は大変で、今では相高坂と呼ばれているそうですが、高校卒業後にも度々相高坂を思い出すことがあり、いい坂道だと思



ます。私の自転車通学は、決して特別なことではありませんが、平凡で幸せな日常の思い出でもあります。

学校生活はというと、全般的にほほほどといった感じで、充実には程遠く、将来のビジョンも見い出せず、手厚く見守っていただいた先生方には、今更ながら誠に申し訳なく思っております。周りには、教師になりたいとか、京大に行きたいとか、明言する同級生がいて、後に彼らが言ったとおりの人生を歩んでいることを知ったときは、本当にうらやましいと感じました。

私のもやもやが晴れたのは、就職してからです。就職後、人材広告の営業マン、国税職員として社会経験を積み重ねる中で、自分の意識が固まって、覚悟が定まり、今に至ったと思います。思えば、相高坂を上る時の踏ん張る気持ちが、私を後押ししてくれたと思っております。

来年7月の定年後は、税理士として独立する予定です。定年後は、1回生として、私なりに母校への恩返しをしていきたいと考えております。



## イランと日章丸

中山 真志 (3回生)

大学卒業後の私は、ココロも満タンに、のコスモ石油に入社。現在は常務取締役として中東での原油生産と油田開発を管掌していますが、職歴の大半は石油トレーディングに従事してきました。この間に体験した面白いネタは沢山あるのですが、ここは相生高校の同窓誌なので、相生と繋がる「イランと日章丸」をご紹介します。

日章丸事件。映画「海賊と呼ばれた男」でも有名になりました。時は戦後、世界中の石油を国際石油資本が牛耳る中、その既成秩序を破って出光興産がイランと直接契約を締結。敗戦国の日本が戦勝国の石油独占に風穴を開けた大事件です。派遣されたタンカー日章丸は英国海軍の砲撃予告をかわし無事帰還しました。

ご存じの方も多いと思いますが、実はこの日章丸は相生で建造されました。我らが郷土相生は、嘗ては船舶建造能力で世界一を誇っていたのです。以前見学させて貰った建造船台の跡は今では鋼材置場ですが、当時の面影を強く残していました。私の祖父もその時期に造船所で働いており多少は役に立ったかもしれません。

話は変わりますが、写真の人物は、イラン国営石油会社の原油部長、ホジャティー氏。19年秋、銀座の鮎屋で、これがワサビの正体か！と驚愕している場面です。その彼のテヘランの執務室。そこは古く薄暗いけどペルシャ絨毯や木製調度品が雰囲気を醸している部屋ですが、こ

こに、タンカー船の模型が大切に飾られています。日章丸です。

映画は出光の創業者佐三氏の一代記なので日章丸事件の興奮は日本の話として描かれています。しかし、実はこの事件は、産油国イランからも大喝采でした。貴重な国民の天然資源を収奪する国際石油資本への最初の反撃だったのです。古代ペルシャ帝国の末裔を自認する彼らは誇り高い人々なのですね。日本への感謝は世代を超えて確実に引き継がれており、面談の場で「日章丸は私の祖父が作った」なんてちょっと大袈裟に話すと大盛り上がりです。

現在イランはその核開発を阻止したい米国の経済封鎖下にあり、日本などの親米国は同国産の原油を輸入できません。この写真はそういう時期の一枚。さすがに現代の会社員には、出光佐三氏に倣って米国の経済制裁に風穴を開ける気概はないし、また必要もないので、鮎を摘みながらの話題は普通の四方山話ですが、でも、こういう繋がりも、案外日本のエネルギー安全保障の一端を担っている気がするのですがね…





## 大学生になって

高橋 涼輔 (42回生)

大学に入学して数ヶ月経ちましたが、夢に向かって近づいている事を実感し、充実した日々を送っています。しかし、入学当初は不安と心配でいっぱいでした。実家を離れ初めての一人暮らしで、料理や洗濯、掃除と全ての事を自分でしなければいけなくなり、分からないことばかりでとても大変でした。また新型コロナウイルス感染症の影響で、対面授業が減り大学に行く機会も少なかったため、思い描いていた大学生活とはかけ離れたものでした。それでも毎日充実した大学生活を送ることができているのは、陸上競技部に入学したからだだと思います。僕は長距離パートに所属して、切磋琢磨し互いに高め合えるチームメイトができました。練習では苦しい事も多く、故障して走れなくなることもありました。これから先も決して思い通りにいくことばかりではないと思います。けれどチームメイトと一緒に、これから先どんなに辛いことがあったとしても乗り越えられると思います。「人とのつながり」をより大切に感じるコロナ禍に、このような仲間と出会えたこと

を嬉しく思います。陸上競技部の仲間と共に、競技力の向上だけでなく、人として成長していきたいです。

大学では、地質学や自然災害工学、環境学について学んでいます。僕の所属する地球科学科では、バスに乗ってジオパークや博物館へ訪れ実習することが多々あります。高校と大きく違う点は、教科書を見ることでしか学ばなかったことも、大学では実際に手に取って肌で感じ学ぶことができるという点です。また自由な時間が多い分、自分次第でより学びを深められるというのも大学ならではの魅力です。この大学生活を通して、自ら学び考える力を身に付け、将来に向けて有意義な4年間にしていきたいです。

そして講義や部活だけでなくたくさんの事に挑戦してみようと思っています。その努力したという事実と経験は、結果によらずきっとどこかで役に立つと思います。

最後に、相門会の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



# 母 校 だ よ り

2021 DEC. [lutena]vol.25

## 新制服について

令和4年度より男子制服も一新し、スラックスやネクタイ、リボンの選択の幅を広げます。



冬服



冬服

ブレザー+スラックス

組み合わせは自由です。



夏服

半袖+スラックス



合服



夏服



冬服

ブレザー+スカート



合服

ベスト+スカート



夏服

半袖+スラックス

- ・抗菌、抗ウイルス、洗濯機でも洗える素材。 **CLEANSE**
- ・国際化に対応し、フォーマルで普遍性に富んだデザインです。
- ・女子制服のデザインを継承しながら品位ある男子制服に仕上がっています。
- ・ネクタイ、リボンは校歌から『白き風』『瀬戸の海』を表現した白と青のラインと、校章のモチーフとなった兵庫県の花のじぎくの黄色を使用しました。
- ・清潔感があり、知的、上品な可愛さのあるストライプ柄です。



令和3年5月31日～6月18日（6月11日）まで5名の卒業生が教育実習のため、母校にもどってきました。以下の文は相高ブログからの抜粋です。

### 38回生 高木達也（保健体育）

生徒として過ごした3年間とは違い、教育実習生として過ごした2週間は新鮮でした。生徒として見ていた景色も、先生という立場では違った見え方、感じ方がしました。何より印象的だったのが生徒の「やさしさ」を強く感じたことです。朝の登校時間や廊下での挨拶をしてくれたこと、授業中も私の話を聞いて受け答えをしっかりとしてくれたことなど、生徒の「やさしさ」や「笑顔」に助けられました。生徒だけでなく指導いただいた先生方にも教育者としてのあるべき姿を学ばせていただき感謝しています。

生徒のみなさん、人生の中で高校生でいられるのは今この瞬間だけです。だから無理はせず自分なりに楽しい高校生活を送ってほしいです。また先入観にとらわれない生徒になってください。常識にとらわれず、物事の本質を正確に理解し、自分なりの考えをもって、行動できる人間になってほしいです。偉そうなことを言って申し訳ないですが、私もそうなれるよう邁進していきます。



### 39回生 小林舞晶（英語）

私にとってこの教育実習は、人生に通ずるような事を沢山得ることができた有意義な三週間となりました。

初めは「先生！」と呼ばれるだけでも嬉しくて、同時に生徒たちにとっては私も他の先生方と変わらない教員であるため、もっとしっかりと頼られる存在にならなければいけないと思いました。そして、実習生としての日々を過ごす中で、一つの授業を作り上げる事の大変さや伝える事の難しさを感じました。しかし、どんなに困難なことがあっても、HRの担当である1年4組、授業を担当した1年5組の教室に行って生徒と話す、そんなことも忘れるくらい元気をもらったり、授業を楽しみながら受ける生徒の姿や、真剣に授業を聞いてくれる生徒の姿を見る事がやりがいになっていました。

素直で真面目な相生高校の生徒たちと、優しさと共に沢山のご指導を下さった先生方のおかげで、さらに教師を目指したいという気持ちが強まりました。



### 39回生 坂田紘奈（保健体育）

私はこの3週間の教育実習で、授業をすることの大変さや難しさ、生徒と関わることの楽しさなど多くのことを学びました。特に実際に授業を行ってみて「生徒は教師の鏡」ということを実感しました。教師の緊張や不安が生徒に伝染し、授業が変化していくことを体感し、授業の内容はもちろん、教師の授業への姿勢が大切であると学びました。体育の授業では生徒の動きが多いため、指示を具体的に分かりやすくすることで生徒も理解できるし展開もスムーズになること、また生徒に対して細かく評価やコメントをすることで生徒の達成感などに繋がることを教えて頂きました。

保健体育の授業をさせて頂いて、授業終わりに生徒から「授業が分かりやすくて楽しかった」「バレーボールの楽しさに気づけた」と言ってもらえたことがとても嬉しく、頑張ろうと強く思いました。

この3週間で学んだことを忘れず、日々成長していけるよう努力していきたいです。



### 39回生 藤田大地（理科）

教育実習に取り組む中で、相高生だった4年前の生活が鮮明に思い出されました。下校時間ぎりぎりまでがんば廊下で勉強していたことや、大きな声で体育の授業に取り組んだこと、たくさんの思い出が蘇りました。また実際に授業をさせていただいたことで、1時間の授業を作るために、先生方はその何倍もの時間をかけて準備され、生徒の「分かった」を引き出すための授業構成を練られていることを学びました。実習で得られた知見・技術をこれからの研究活動や、その先の人生のあらゆる機会を活かしたいと思えます。

私は現在、愛媛大学理学部で、大好きな生物学を学んでいます。今の私があるのは、3年間私の高校生活を支えてくださった先生方、好きだった生物をとことん教えてくださった教科の先生方、進路等で悩んだ時に、何よりも私の意見を尊重してくださり、自分の決めた道へと背中を押してくださった先生方のおかげです。



### 39回生 小嶋佳奈子（保健体育）

不安と緊張を抱えてスタートした教育実習でしたが、終わってみるとあっという間の3週間でした。実際に、教壇に立ち、保健体育を教えるだけでなく、ホームルームや除草作業等の学校行事にも参加しました。

私は3年3組のホームルーム担当でした。クラスの雰囲気は和やかで、気さくに声をかけてくれる生徒が多く、コミュニケーションがとりやすいクラスでした。ホームルームと掃除の時にしか話すことができずでしたが、生徒たちの笑顔を見て、「よし！頑張ろう！」と思うことができました。

授業では、教えることの難しさを実感しました。1つの技術を教えるのにも、10以上のポイントがあります。そのポイントをいかに簡単に分かりやすく伝えるか、劇的に変わるポイントを伝えられるか。そして、安全に行うことができるか。授業終わりの指導教諭との反省会ではいつも的確なアドバイスをいただき、学ぶことがとても多かったです。



## ～県立学校環境充実応援プロジェクト～

# 母校の後輩たちの教育環境整備のため寄附金を募集しています！

兵庫県は「ふるさと納税」の制度を活用して、教育の一層の活性化を図るため平成28年度から「県立学校環境充実応援プロジェクト」を実施しております。

相生高校では、本年度次の2つの事業テーマで寄附金を募集しています。

### ① 新しい時代に対応した教育環境の充実

体育館での講演会等を、各教室から視聴し、リモートで参加できるよう機器を購入し整備します。

### ② 地域に開かれた学校～学校PR活動の充実～

学校名表示看板、懸垂幕昇降機設置等を購入し、学校から地域に情報を発信するとともに、部活動等で頑張っている生徒を応援します。

ふるさと納税による寄附金をすると、寄附額のうち2,000円を超える部分について、確定申告することにより、所得税、住民税から原則として全額が控除されます（一定の上限あり）。詳しくは兵庫県ホームページの「ふるさと納税」を参考にしてください。

寄附金の申し込み方法については、相生高等学校のHPをご覧くださいか、直接事務室までお電話ください。

ぜひ、母校相生高等学校の取組みを応援いただき、継続したご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## 本校卒業生による特別講義

### 「SDGsとイノベーション」

シモダフランチ株式会社代表取締役社長 下田 信治 様

本校の3回生で、シモダフランチ株式会社代表取締役社長 下田信治様に「SDGsとイノベーション」と題して、1年自然科学コースの生徒対象に特別講義をしていただきました。

ガラパゴス諸島に生息するイグアナの進化から、「生き残ることができるのは変化に適応できるもの」というお話から始まり、地球温暖化に向けての取り組み、カーボンニュートラル宣言、日本のこれからのエネルギー戦略などまさしく現代社会の急速な変化を教えてくださいました。さらに、自動車業界が100年に一度の大変革期を迎えており、主役が自動車メーカーからIT企業に代わっていくだろうというお話には生徒も驚きを隠せず、空飛ぶ自動車はもうすぐ日本でも実現するだろうと聞いて、わくわくした生徒も少なからずいました。産業界で進むイノベーションの速さに大いに刺激を受けました。

最後はChance favors the prepared mind. (チャンスは備えのあるところに訪れる) というパスツールの言葉で講演を締めくくられました。生徒に高校生活では勉強はもちろん人との関わりなど、いろいろなことを身に付け、社会に出ていく準備の大切さを教えてくださいました。(相高ブログより 2021年3月9日)



## 令和2年度～令和3年度8月までの部活動活動報告

部活動名	大会名	種目	順位・戦績・賞名等	記録等
男子ソフトテニス部	後期西播高校ソフトテニス大会	男子団体の部	第3位	県大会へ
卓球部	兵庫県高校総体卓球競技代替大会西播地区大会	男子学校対抗の部	第3位	
	兵庫県高校総体卓球競技代替大会西播地区大会	女子学校対抗の部	第3位	
	兵庫県高校新人卓球選手権大会西播予選	女子学校対抗の部	第3位	県大会へ
サッカー部	令和2年度 兵庫県高等学校サッカー新人大会西播予選		第5位	県大会へ
	令和2年度 兵庫県高等学校サッカー新人大会		県ベスト32	

部活動名	大会名	種目	順位・戦績・賞名等	記録等
サッカー部	令和3年度 兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技		県ベスト32	
野球部	第103回全国高等学校野球選手権兵庫大会		ベスト32 4回戦 相生3-5東播磨	
情報メディア部写真班	第29回兵庫県高等学校西播磨支部秋季写真コンテスト		佳作2名	
	兵庫県高等学校春季写真コンテスト西播磨支部予選		入選1名	
吹奏楽部	兵庫県高等学校春季写真コンテスト西播磨支部予選		佳作3名	
	第68回兵庫県吹奏楽コンクール西播地区大会	S部門	金賞(2位)	県大会へ



## 令和2年度決算報告

<b>〈一般会計〉</b> (単位:円)	
収 入	3,843,440
支 出	3,824,170
差 引 残 額	19,270
<b>■収入の部</b>	
前年度繰越金	21,984
入 会 金	3,518,500
会 費	302,932
雑 収 入	24
合 計	3,843,440
<b>■支出の部</b>	
生徒活動奨励金	250,000
会 報 発 行 費	1,133,792
事 務 費	69,980
貸 金 庫 手 数 料	18,040
会 議 費	2,358
総会案内状印刷・郵送費	0
周年行事積立金	200,000
名簿発行準備金	200,000
同窓会館設立基金	1,950,000
予 備 費	0
合 計	3,824,170
<b>■積立金・基金の状況</b>	
同窓会館建設基金	49,041,370
周年事業積立金	1,447,013
名簿発行積立金	1,313,726
計	51,802,109

## 令和3年度予算

<b>〈一般会計〉</b> (単位:円)	
<b>■収入の部</b>	
前年度繰越金	19,270
入 会 金	3,492,000
会 費	380,000
雑 収 入	8,730
合 計	3,900,000
<b>■支出の部</b>	
生徒活動奨励金	250,000
会 報 発 行 費	1,550,000
事 務 費	70,000
貸 金 庫 手 数 料	10,000
会 議 費	10,000
総会案内状印刷・郵送費	60,000
周年行事積立金	200,000
名簿発行準備金	500,000
同窓会館設立基金	1,230,000
予 備 費	20,000
合 計	3,900,000
<b>■積立金・基金からの取り崩し予定</b>	
同窓会館建設基金・周年事業積立金 いずれも取り崩しの予定はありません。	
・名簿発行積立金 令和3年11月末発行後、支払い予定	

## 令和2年度事業報告

- 会報誌「うてな」発行 1月 9,441部発行 (10,000部印刷)
- 母校支援事業 (PTAとの共同事業)
  - ・生徒活動奨励金  
生徒図書購入、弦楽部箏曲班講師謝礼、サッカー部 グラウンドレーキ、グラウンドならし、野球部 黒土、ソフトテニス部 ネット、物置、コート内木材伐採作業、バスケットボール部 デジタイマー、真砂土、マグランド(塩化マグネシウム)、デジタル温湿度計、体育館通路人工芝
  - ・教育振興基金 (国際交流委員会の29年度未繰越金を原資に平成30年4月設立)  
国際理解講演会 (11/4開催 山口 壯 氏 衆議院議員  
「コロナ後のグローバル化～相高生の無限の可能性～」  
2021 English Day 費用補助

## 令和3年度事業計画

- 会報誌「うてな」発行 12月ごろ
- 宛名シール無料提供
- 母校支援事業 (PTAとの共同事業)
  - ・生徒活動奨励金
  - ・教育振興基金  
国際理解講演会 7/13開催  
外務省高校講座 高木昌弘氏 在クリチバ日本国総領事  
2022 English Day 費用補助

## 名簿発刊について

この度、「相門会会員名簿」を無事発刊することができました。調査につきましては会員の皆様のご協力をいただきありがとうございました。また、名簿のご購入、広告、賛助にご協賛くださいました皆様方には厚くお礼申し上げます。名簿購入希望の方は、事務局または小野高速印刷㈱までご連絡ください。なお、ご連絡いただいた際には、ご本人確認をさせていただく場合がございますのでご了承ください。

## 42回生 相門会幹事 (相生高校の同窓会は「相門会」と名付けられています)

	1組	2組	3組	4組	5組
42回生	前田 直樹 まへだ なおき	植田 樹 うえだ いつき	中島 亮人 なかしま あきひと	井原 琉稀 いはら りゅうま	☆林 周佑 はやし しゅうすけ
	岩崎はづき いわさき はづき	米元 瑞希 よねもと みずき	中野 京子 なかの きょうこ	岡本 幸 おかもと みゆき	☆北川陽香里 きたがわ ひかり

☆印は代表幹事

## 会費納入について

いつも会費納入していただきありがとうございます。この「うてな」は、同窓生の皆様の会費で発行しております。できるだけ多くの方がご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

さて会費は、同封の振込用紙で、ゆうちょ銀行、コンビニ又はLINE Pay 請求書支払いで納入して下さい。会費納入の際に、住所・氏名の変更がありましたら、ゆうちょ銀行の場合は、振込用紙を訂正し、払い込んでいただくと、事務局への連絡は必要はありません。また、メッセージがありましたら、あわせてお書きください。なお、コンビニ扱いの場合は、会費納入のみで、住所・氏名の変更、メッセージの受付はできませんので、変更の必要のある場合は、事務局へご連絡ください。

- 住所変更等の連絡先：同窓会名簿発行事務局  
小野高速印刷㈱ 〒670-0933 姫路市平野町62  
☎フリーダイヤル：0120-66-7754  
FAX：0120-81-2299
- ホームページ(同窓会++) <http://dousou.info>  
TOPページ「住所変更はこちら」より
- 携帯電話登録フォーム 右のQRコードより →



## 総会報告

令和3年度 同窓会役員改正  は令和3年度変更分

役 職	氏 名	回 生	役 職	氏 名	回 生
会 長	芦谷 得夫	1			
副会長	大西 康之	1	副会長	志茂 邦彦	2
	堀川 法宏	2		西角 隆行	4
	佐伯 敦	10			
会 計	山内小百合	1	会 計	浮田さおり	3
	中部 修一	2			
書 記	宮崎真哉子	2	書 記	大石 雅嗣	11
会計監査	福岡 章代	1	会計監査	森中 江美	8
	岸本 由樹	3		山本 俊二	6
校内幹事	射延 章浩	8	校内幹事	藤岡 裕介	11
	兼田 淳平	34			

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響が長引く毎日ですが、会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年度は5年に1度の会員名簿発行の年となっており、ご協力いただきありがとうございました。

3月に3回生の下田様が講演をして下さいました。非常に興味深いお話で、自動車産業界の変化の速さにびっくりしました。同時に、そのような激動の分野で本校の卒業生が活躍されていると知って誇らしい気持ちにもなりました。

令和3年度の「うてな」に投稿いただいた方々、お忙しい中まことにありがとうございました。今年度は相門会1回生の皆様がいよいよ還暦の年となります。今後とも、相門会の活動がますます発展していきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。